

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	20	学校名	生駒高等学校
----	----	-----	--------

1. 取組名 コーラス部・演劇部合同での近隣老人福祉施設訪問

2. 活動内容

近隣の老人福祉施設「リーガルシニア生駒」さんより、コーラス部に対してクリスマスコンサートの依頼があった。しかし、日程の調整がつかず本校生徒会指導担当教員と施設側とが協議し、節分イベントの一環として、コーラス部に童謡等、演劇部による演劇「水戸黄門」の披露、節分豆まきのお手伝いを行った。

3. 成果と課題

コーラス部による施設等の訪問は、以前にも行ったことはあったが、今回は新しく別の施設で、入居者を楽しんでいただくために、演劇部も参加して訪問を行った。コーラス部は童謡の合唱・輪唱を、演劇部は15分程度の劇を行った。全体の時間配分やクラブ間の調整は担当教員が行い、曲目・演目の選択、舞台構成はクラブ単位で生徒自身が考えた。生徒たちは、認知症を含む多様な入居者に喜んでもらうべく、顧問教師の指導の下、自ら考え企画を作り上げた。両クラブの生徒にとっても、良い機会であり経験であったと思う。施設側からは書面で、今までのイベントの中で一番入居者からの評判が高かった旨の評価をいただいた。この事実は生徒たちにとって、大きな自信になったようだ。また、演劇部としては初めての地域との連携となり、地域との協働を考える良い機会を与えることができたと考察できる。今回は節分行事の一環での参加であったが、各クラブの発表会や考査の日程の合間を縫っての訪問であった。時期の選定について、それぞれの立場での調整が早い時期から必要であると思われる。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

訪問先の施設は、新しく本校の至近に開業され、連携先としても最も適した施設であると考えられる。次年度以降も、定番の行事として定着させていきたいと考えている。

